社会部
☎018・888・1830
FAX 018・823・1780

民政党総裁・町田忠治（秋田市出身）

政治理念の継承誓う

櫻田會理事長ら　生誕160年合わせ墓参

町田忠治の墓前で手を合わせる櫻田會の増田理事長

政治研究への助成事業を行っている一般財団法人・櫻田（さくらだ）會（かい）（東京、増田勝彦理事長）の役員らが秋田市を訪れ、同会の創設者で民政党総裁を務めた町田忠治（同市出身、1863～1946年）を墓参して遺徳をしのんだ。

町田は民政党総務会長だった1933（昭和8）年、党の政策研究拠点として政務調査館を建設、翌34年にはその管理運営団体として「財団法人櫻田會」を創設した。同会は戦争で活動休止を余儀なくされたが、63年に活動再開。82年からは不偏不党の立場で政治研究に関する助成・表彰事業を実施し、96年には町田の伝記を刊行している。

同会が役員の視察研修として秋田市を訪問するのは初めてで、増田理事長(71)をはじめ町田の孫に当たる中村隆一専務理事(85)＝東京都練馬区＝ら8人が来県。一行は25日、最初に誓願寺（同市旭南）を訪れ、本堂のすぐ前にたたずむ町田の墓に献花して手を合わせた。引き続き県立博物館の「秋田の先覚記念室」を見学し、農相や商工相も歴任した町田の功績を改めて胸に刻んだ。

今年は町田の生誕160年。節目の年に同会創設者の生まれ故郷を訪れた増田理事長は「国際協調による平和を希求した町田先生の政治理念を継承し、今後の事業展開に生かさなければという思いを新たにした」と話していた。

（村上昌人）

「秋田魁（さきがけ）新報 2023年5月31日朝刊23面秋田市版」に掲載されました

＊掲載許可取得済み